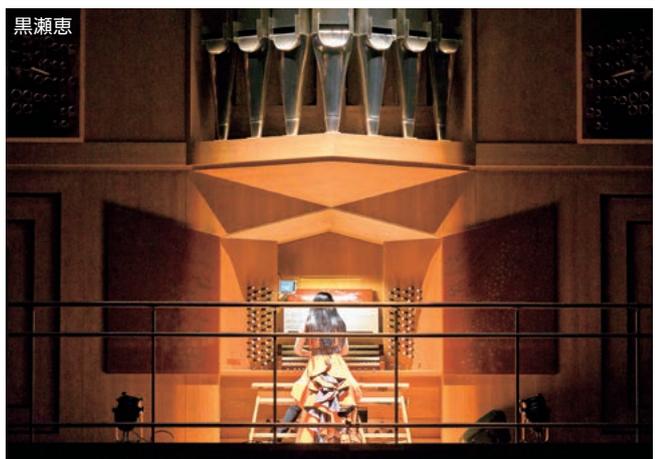




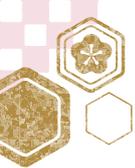
石川県立いしかわ特別支援学校／国際高等専門学校／金沢工業大学／Maeda Tanaka Ballet前多敬子・田中勉バレエ教室／石川県太鼓連盟



多様性シーン(石川県太鼓連盟ほか)

- いしかわ百万石文化祭 2023 振り返り映像
＜閉会式典＞
- 国歌独唱
直江学美(声楽家)
- 主催者挨拶
文化庁次長 合田哲雄
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長 辺見聡
いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会会長
石川県知事 馳浩
いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会文化芸術顧問

- 石川県芸術文化協会会長 飛田秀一
- 大会旗の引継ぎ
いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会会長
石川県知事 馳浩
岐阜県知事 古田肇
ひやくまんさん
(いしかわ百万石文化祭 2023 マスコットキャラクター)
ミナモ(「清流の国ぎふ」文化祭 2024 マスコットキャラクター)
- 次期開催県挨拶
岐阜県知事 古田肇



<次期開催県アトラクション>

- 「清流の国ぎふ」文化祭2024PR映像
- 郡上おどり
(国重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産)
出演：郡上おどり保存会

<グランドフィナーレ>

- 案内人：野村萬斎(狂言師)、池辺晋一郎(作曲家)、アンジェラ・フィオーリーニ(OEKホルン奏者)
- 継承シーン
出演：渡邊さくら(宝生流能楽)、

- 小川莉音(北國新聞文化センター金沢シティバレエ団)、中村香耶(中村祐子モダンバレエアカデミー)
ナレーション：翁…渡邊荀之助(能楽師)、童…渡邊さくら

切り絵製作：早川鉄平(切り絵作家)

○多様性シーン

- 出演：石川県立いしかわ特別支援学校、国際高等専門学校／金沢工業大学、Maeda Tanaka Ballet 前多敬子・田中勉バレエ教室、公益社団法人石川県太鼓連盟、



グランドフィナーレ



大会振り返りコーナー



岐阜大会PRコーナー



黒瀬恵(パイプオルガン)、李彩霞(二胡)

○発展シーン

出演:金沢ジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21、
西房唯・亜美(民謡)、口出智太郎(津軽三味線)

映像出演:輪島貫太・楓(兄妹アーティスト)、
大能寛飛(ブレイクダンサー)

○エンディング

出演:グランドフィナーレ全出演者

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

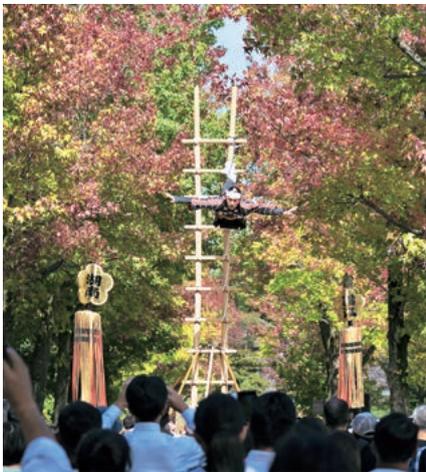


リーディング事業

003 オープニングイベント「文化絢爛」

●開催日：令和5年10月14日(土)～10月15日(日)
●開催会場：石川県政記念しいのき迎賓館、本多の森公園、石川県立能楽堂ほか

金沢 エリア
金沢市



◆ 実施状況

10月14日と15日の2日間にわたり、金沢市の石川県政記念しいのき迎賓館を中心とした兼六園周辺文化の森一帯を会場に、大会の開幕をアピールする「オープニングイベント」を華々しく開催しました。

最初に開幕セレモニーを行い、輪島・和太鼓虎之介の演奏に合わせ、書道家の阿部豊寿さんが大会のキャッチフレーズ「文化絢爛」を大筆で書き上げた後、俳優の田中美里さんとタレントの新田さちかさんが着物姿で登場したステージで、馳浩石川県知事が大会の開幕を高らかに宣言しました。

ステージイベントでは、県内の文化団体を中心に、2日間で26団体893名が出演し、日頃の練習の成果を存分に発揮し、迫力のある演奏、演技を披露いただいたほか、2日目の最後には、特別ゲストとして、大会のCM曲を歌う「moumoon」によるスペシャルコンサートも行い、会場を盛り上げていただきました。

また、1日目には、石川県立能楽堂において、青柳正規石川県立美術館長と日本文学研究者のロバートキャンベルさんによるスペシャルトークショーを、石川県立歴史博物館では、藤井譲治石川県立歴史博物館長の講演会を行い、石川の文化の魅力を知りやすく、楽しく伝えてくれました。

そのほかにも、「金箔貼り」や「九谷焼絵付け」等の文化体験、クラフト・グルメ販売、お茶会などを実施し、来場者に石川の多様で多彩な文化に気軽に触れ、楽しんでいただき、2日間で50,000名を超える方々に来場いただきました。

さらに、提灯や大のぼり旗などで装飾された会場では、司会者やスタッフには、着物・法被を着用してもらい、射的などの縁日コーナーや凧揚げなどの昔遊びコーナーも設置するなど、レトロな雰囲気で会場を包み込みました。

【特設ステージ出演団体】

<14日>アカペラ(雪月花、翡翠)、津軽三味線明宏キッズ、ガルガン・アンサンブル、遊学館高等学校バントワリング部、金沢学院大学附属高等学校吹奏楽部

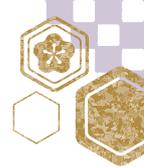
<15日>金沢ジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21、金沢邦楽アンサンブル、杉山民謡会、手話エンターテイメント発信団oioi、石川県立田鶴浜高等学校手話部、チアダンス(ウイングスカナザワ)、moumoon

【フィールドステージ】

<14日>加賀 蔦子登り(加賀とびはしご登り保存会)、YO-SAKOI(The日本海&北國新聞、金沢大学よさこいサークル彩)

<15日>獅子舞(宝達志水町久保町青年団)、マーチングバンド(遊学館高等学校吹奏楽部)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



金沢
エリア

金沢市

004

リーディング事業

チームラボ 金沢城 光の祭

- 開催日：令和5年9月30日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：金沢城公園



◆ 実施状況

世界的な人気を誇るアート集団「チームラボ」が手掛ける夜の光のアート展「チームラボ 金沢城 光の祭」を大会開幕の2週間前から大会終了までの58日間にわたり開催しました。

石川県を代表する観光地の一つである金沢城公園そのものがデジタルテクノロジーによって様々な光のアートで彩られた本展は、連日入場待ちの列ができる人気ぶりで、外国人観光客をはじめ県内外から来場した159,585名の方々が幻想的な光のアート空間を楽しみました。

【展示内容】

金沢城公園のシンボル「五十間長屋」では、色鮮やかな花々で形作られた動物たちが鳴き声を響かせながら行き交う作品が、圧倒的なスケールと美しさで見る人を魅了しました。

また、旧第六旅団司令部には、人が触れるとさまざまな色を変え、その色特有の音色を響かせる ovoid (卵形体) が数多く設置され、まるで自分が作品の一部となったような体験を楽しみました。

このほか、来場者が紙に自由に描いた前田利家やお松の方、高山右近など加賀藩ゆかりの武将たちが目の前のスクリーンに登場し動き出す作品では、武将に触ると、その人物の名言

が吹き出して現れるなど、参加型アートとして子どもだけでなく大人も楽しみながら金沢城の歴史を学んでいただくことができました。

さらに、金沢城内の石垣の中で、最も古い技法「野面積み」が用いられている東ノ丸北面石垣には、「円相」を書き続ける作品により、見る人の心を映し出したほか、自身が描いた武将の絵を缶バッジにして持って帰ることのできるブース『お絵かきファクトリー』も設置され、来場者は公園内約1kmを歩きながら、自然の中で吹く風や雨、その場にいる人も作品の一部となるチームラボの作品空間を堪能しました。

<展示作品>

- 金沢城の石垣に住まう花と共に生きる動物たち
- 古えの石垣の円相
- Walk, Walk, Walk - 金沢城
- 自立しつつも呼応する生命と呼応する木々
- 呼応する木々
- 戌亥櫓石垣
- 我々の中にある巨大火花
- お絵かき武将

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会
▽特別協力 北國新聞社



005

リーディング事業

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 -麗しき美の煌めき-

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：石川県立美術館、国立工芸館

金沢
エリア

金沢市



◆ 実施状況

石川県立美術館と国立工芸館が隣接するメリットを活かし、全国で初めて2館共同で1つの展覧会を開催したものであり、会期は、いしかわ百万石文化祭2023の会期に合わせ、10月14日から11月26日までの44日間(うち1日は展示替えのため休館)となり、加賀藩前田家や石川県ゆかりの作家が皇室に献上した名品に加え、皇室に伝わった日本美術の最高傑作などが石川の地に集結しました。

なかでも、皇室と前田家の様々な縁から、皇居三の丸尚蔵館と、前田家に伝来した古文書をはじめ、美術工芸品等の文化財全般を所有し、保存・管理する「前田育徳会」のそれぞれの名宝がコラボ展示したことも注目を集め、高い関心が寄せられました。

会期中の来場者数は、50,250名となり、連日、会場前に行列ができるほど盛況でした。さらに、狂言師の野村萬斎さんと俳優の田中美里さんによる「音声ガイド」を貸し出したほか、県立美術館内カフェにおける展覧会をイメージしたコラボスイーツの販売、人気ゲーム『刀剣乱舞 ONLINE』とのコラボ企画など、普段、美術等に触れる機会がない方にも、気軽に美術館等に足を運んでもらえるよう工夫を凝らしました。

【展示内容】

令和5年10月に名称を皇居三の丸尚蔵館と改めた同館から、石川ゆかりの作品を中心に89点が出品され、前田育徳会及び開催2館が所蔵する作品を加え、あわせて116点を展示

しました。

全体を5章立てとし、1章から3章までを県立美術館、4章・5章を国立工芸館で行いました。第1章「皇室と加賀前田家」では、旧加賀藩主前田家から皇室に献上された『万葉集巻第二 第四残巻』と、前田家に残された『万葉集巻第三 第六残巻』を並べて展示しました。第2章は「皇室の至宝」と題して、伊藤若冲『動植綵絵』など日本美術を代表する名品を展示しました。第3章の「皇室に伝わった石川の美術」では、岸駒など石川ゆかりの絵画作品を展示しました。

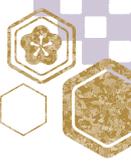
国立工芸館では、第4章で「皇室に伝わった石川の工芸」を明治・大正と昭和・平成の二期に分けて展示し、初代徳田八十吉や人間国宝の松田権六などの名品が並び、献上後初めて里帰りを果たした作品も多数展示しました。最後の第5章では「皇室を彩る華麗なる工芸」として、海野勝珉らの作品を紹介しました。

【関連イベント】

- 記念講演会 太田彩(元宮内庁三の丸尚蔵館首席研究官)
10月22日(日)/石川県立美術館
朝賀浩(皇居三の丸尚蔵館副館長)
11月23日(木・祝)/石川県立美術館
- ワークショップ 「みんなでつくろう! 扇面散屏風」
11月18(土)、19日(日)/石川県立美術館
- 記念演奏会 「雅楽 -麗しの響き-」
11月11日(土)/石川県立能楽堂

主催

石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構
▽共催 北国新聞社 ▽特別協力 紡ぐプロジェクト、読売新聞社、公益財団法人前田育徳会

金沢
エリア

金沢市

006

リーディング事業

御殿の美展

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：石川県立歴史博物館



◆ 実施状況

日本を代表する城郭御殿の、創建、増改築、そして災害後の復興といった「時の流れ」に注目し、機能と美のあり方に迫る特別展を実施しました。

会期は、いしかわ百万石文化祭 2023 の会期に合わせ、10月14日から11月26日の44日間(うち1日は展示替えのため休館)となり、石川県で初めて展示する二条城二の丸御殿障壁画や、35年ぶりになる名古屋城本丸御殿障壁画など、貴重な遺物が勢ぞろいしました。城郭御殿の大成期にあたる慶長・寛永期の豪華絢爛な障壁画を間近にした来場者の満足度は高いものになりました。

また、石川県では、金沢城二の丸御殿の復元整備事業が進んでおり、金沢城二の丸御殿をめぐる最新の研究成果も一挙に紹介することで、来場者に加賀前田家がいかに城の普請を進めてきたのかについて、関心を深めていただくことができました。

そのほか、関連イベントとして、多数の講座、展示解説、ワークショップを実施し、とりわけ金沢城二の丸御殿で使用されていた唐紙と同デザインの紙を用いた和綴じノート制作体験は好評を博しました。大会アンバサダーで声優の寺島拓篤さんによる音声ガイドも人気が高く、展示内容の理解促進を図ることができました。

【展示内容】

計97件の資料を以て、城郭御殿について多角的に掘り下

げた展示を行いました。序章「天守から御殿へ」においては、城郭における天守と御殿の成り立ちと役割を示し、第1章「御殿創建—厳威の顕在」では、城郭御殿を特徴づける豪華絢爛な室内装飾を取り上げました。二条城二の丸御殿障壁画および名古屋城本丸御殿障壁画を核とし、江戸時代初頭に大成した権力の視覚化のあり様を紹介しました。第1章には初期加賀藩の城普請に注目した特集コーナー「城を創る者—加賀藩の場合」を設け、金沢城二の丸御殿の創建者である加賀前田家3代・利常が重用した絵師の活躍や、公家文化との接近に注目しました。第2章「御殿復興—先例と御好」では、城郭御殿をめぐる変遷の中でも「復興」という局面に焦点を当て、金沢城二の丸御殿を事例に、罹災した御殿がいかなる方針で復興されたかという問題を取り上げました。再建を支えた多様な人々の動向に注目し、復興の過程を具体的に示すことを目指しました。

【関連イベント】

記念講演会「襖絵・杉戸絵の画題が語る文化度金沢城二の丸御殿」講師：太田昌子(金沢湯涌夢二館館長、金沢美術工芸大学名誉教授) / 館長講演会「加賀百万石の成立」講師：藤井讓治(当館館長、京都大学名誉教授) / 展示解説講師：中村真菜美(当館学芸主任)、吉田朋生(当館学芸員) / ワークショップ「和綴じノートをつくって、金沢城のインテリアを学ぼう!」講師：萩原真人(金沢美術表装協同組合代表理事)

主催

石川県立歴史博物館、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会
▽企画協力 石川県金沢城二の丸御殿復元整備推進室、石川県金沢城調査研究所 ▽特別協力 北國新聞社



音楽堂3days

- 開催日：令和5年11月3日(金・祝)～11月5日(日)
- 開催会場：石川県立音楽堂 コンサートホール、邦楽ホール



◆ 実施状況

石川県の音楽文化の発信拠点である「石川県立音楽堂」を舞台に、3日間にわたり、和洋の多彩な音楽で彩る珠玉のステージを展開しました。

オーケストラ・アンサンブル金沢（以下、OEK）をはじめとした国内外のアーティストによるクラシック公演に加え、伝統芸能と現代劇を融合させた音楽劇、子ども参加型のコンサートなど、いしかわ百万石文化祭 2023 ならではの多彩なプログラムによる、特別感のあるステージが生み出されました。

【プログラム】

1 OEK スペシャルコンサート

俳優の長谷川初範さんをナレーションとしてお迎えし、モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」をハイライト・演奏会形式で上演しました。OEK パーマネントコンダクターの川瀬賢太郎さんの指揮、バリトン歌手の宮本益光さんの演出、モーツァルト・シンガーズ・ジャパンの歌手陣に OEK が演奏して繰り広げられたオペラは、エネルギッシュな舞台となり、観客を魅了しました。

2 山月記・名人伝

中島敦の2つの短編「山月記」「名人伝」を軸に、野村萬斎さんが構成・演出・出演する音楽劇を実施しました。野村萬斎さんら狂言師が狂言の語りと身体のテクニクを駆使して中島敦の文体を表現し、尺八、太鼓の生演奏による音色が新しい音楽劇の世界観を重層的に響かせました。

演出／構成：野村萬斎

出演：野村萬斎、野村裕基、深田博治、高野和憲、中村修一、内藤連

尺八：藤原道山 大鼓：亀井広忠

3 IMA スーパーstring・アンサンブル特別公演

国内外で活躍する IMA（いしかわミュージックアカデミー）出身の若きプロの音楽家によるスペシャルコンサート（出演者によるトークを含む）を実施しました。

出演：原田幸一郎（指揮）、

IMA スーパーstring・アンサンブル、

ヤン・インモ（ヴァイオリン）、

辻彩奈（ヴァイオリン）、上野通明（チェロ）、

南紫音（ヴァイオリン）、他

4 池辺晋一郎プロデュース 子どもたちとのコンサート

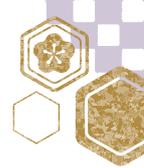
子ども参加型のコンサートとして、OEK が学校やテレビなどで聴いたことがあるようなクラシックの名曲を披露したほか、池辺さんが書き下ろした曲にあわせ、ステージ上で楽器を持った子ども達と OEK が共演する演奏会を実施しました。さらに、タイプライターや身近なものを使って音楽を奏でたり、観客と一緒に身体を使って自然の音を表現したりなど、子ども達は音が変わる楽しさを発見しながら、音楽に対する興味や関心を高めました。

出演：広上淳一（指揮）、

オーケストラ・アンサンブル金沢（管弦楽）、

池辺晋一郎（案内役・作曲・プロデュース）、

徳前藍（司会）



リーディング事業

008 ONSENトーク!トーク!トーク!／温泉で音楽のおもてなし

● 開催日：令和5年11月12日(日)／令和5年10月21日(土)、29日(日)、11月4日(土)、18日(土)、19日(日)
● 開催会場：石川県立音楽堂 邦楽ホール／湯涌温泉・山中温泉・和倉温泉・山代温泉・片山津温泉

複数エリア
県内各地



◆実施状況

①ONSENトーク!トーク!トーク!

世界に誇る「温泉」の魅力を、1日で様々なテーマと絡めて、楽しく学ぶことができるトークイベントを開催しました。

テーマ「マンガと温泉」では、漫画『テルマエ・ロマエ』の作者・ヤマザキマリさんに、漫画の執筆エピソードをはじめ、日本と世界の温泉文化の違いや石川県の温泉を訪れたときの体験談などを語っていただきました。

テーマ「戦国武将と温泉」では、東京大学史料編纂所教授の本郷和人さんに武田信玄・徳川家康など戦国武将と温泉にまつわるエピソードや戦と温泉の関わりなどを解説していただきました。

テーマ「美容・健康と温泉」では、医師の友利新さんに、医学的に美容と健康に良い温泉の入り方や効能に応じた温泉の選び方など、身体に良い楽しみ方を分かりやすく教えていただきました。

テーマ「落語と温泉」では、落語家の桂二葉さんと月亭方気さんによる落語のほか、お二人の温泉での楽しみ方や温泉でのエピソードなどを笑いを交えながらトークをしていただきました。

1日で2つ、3つのテーマをはしごした方もおり、「日本の温泉に対する関心がさらに高まった」との声もいただきました。

【プログラム】

- 10:30～12:00 「マンガと温泉」ヤマザキマリ

- 13:00～14:00 「戦国武将と温泉」本郷和人
- 15:00～16:00 「美容・健康と温泉」友利新
- 17:00～18:00 「落語と温泉」桂二葉、月亭方気

②温泉で音楽のおもてなし

大会期間中、風情あふれる県内5つの温泉地で、演奏会を開催しました。和と洋の楽器による温かみのある音色で、県内外から訪れた人をおもてなししました。

【出演者】

- 湯涌温泉 10月21日(土)
西金沢少女団、ほくりくアイドル部
- 山中温泉 10月29日(日)
石川公美(ソプラノ歌手)、田島睦子(ピアノ)
- 和倉温泉 11月4日(土)
藤舎真衣(横笛)、北村雅恋(箏)、岩城博之(太鼓)
- 山代温泉 11月18日(土)
藤舎真衣(横笛)、富田祥(チェロ)、山田ゆかり(ピアノ)
- 片山津温泉 11月19日(日)
一川宏宏、一川宏都、一川宏月(津軽三味線)、一川宏照(唄)、今本健夫(鳴物)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



009

リーディング事業

石川ゆかりの文学朗読劇

- 開催日：令和5年11月12日(日)
- 開催会場：石川県立音楽堂 コンサートホール

金沢
エリア

金沢市



◆実施状況

石川にゆかりのある作家の文学作品と、若者の文化芸術やふるさとに対する思いを、第一線で活躍する人気声優をはじめ、県内の高校生も参加する朗読によって、表現しました。

第1部は、全国の若者(中学1年生から満29歳以下)を対象に、「詩(テーマ:ふるさと)」と「エッセイ(テーマ:文化・芸術)」を募集し、総数557作品の中から選ばれた入賞作品の表彰式を行いました。

<講評> 水洞幸夫(金沢学院大学副学長)

また、その中から、最優秀賞と特別賞の4作品を、宝達志水町出身の声優、寺島拓篤さんに朗読していただきました。朗読した作品の受賞者の皆さんからは、寺島さんとのトークにより、作品に対する思いも披露していただきました。

第2部は、生誕150年を迎えた泉鏡花の作品「外科室」を、県内の高校生とプロの声優の寺島拓篤さん、森川智之さん、中村千絵さんの3名が共演する朗読劇を行いました。高校生のキャストは、県内高等学校の放送部や演劇部に在籍する生徒の中から、ワークショップ、オーディションを経て選ばれた6名が参加し、10月16日には、朗読劇の様子を、天皇皇后両陛下が御視察され、本番の成功に向けて、高校生の出演者を励ましていただきました。

本番では、高校生の皆さんが、見事に鏡花の世界を声で演じることができ、共演した寺島さんも、「みんなの吸収力や成長ぶりはすごかった」と讚えていました。

<高校生出演者>細木壬琴、伊中駿介、小池佐知子、石橋彩、田中瑚夏、相馬伊吹

第3部は、石川県にゆかりのあるミステリー作家、米澤穂信さんと寺島拓篤さんのトークショーで、会場を沸かせた後、米澤さんの小説を原案に、金沢市出身の水橋文美江さんが脚本を手掛けた、「金曜に彼は何をしたのか〜本と鍵の季節より）」を、人気声優陣のみで朗読する、この日限りのスペシャルイベントを行いました。主役の男子高校生の2人を、寺島拓篤さんと日野聡さんが演じ、葉山翔太さんと板倉光隆さんが脇を固める豪華布陣で、プロならではの多彩な技術と表現による圧倒的な演技力に、会場全体が魅了されました。

【表彰】「若者による詩・エッセイ」

<詩部門>

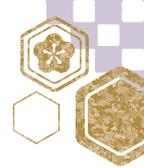
最優秀賞	飛花落葉	久保花鈴	石川県
優秀賞	消えた還郷	杜万太郎	千葉県
特別賞	ワンルームの音度	内藤鈴音	石川県
奨励賞	マイ故郷アフターザレイン	赤松啓太郎	石川県
奨励賞	引越す日	渡邊実夢	千葉県
奨励賞	ふるさと	成瀬詩衣	新潟県

<エッセイ部門>

最優秀賞	暖簾の實在	出店桃葉	福島県
優秀賞	恋しないプールのなかで	渡邊実夢	千葉県
特別賞	おじいちゃんの笹寿し	三納瑞季	石川県
奨励賞	これは書写じゃなくて書道なの!	大井山聡	石川県
奨励賞	HANABI	中村香鈴	石川県
奨励賞	人生のサージ	吉田凌	石川県

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会
▽協力 集英社文庫、KADOKAWA



複数
エリア

県内各地

010

リーディング事業

加賀宝生能

- 開催日：令和5年10月21日(土)、10月28日(土)、11月19日(日)
- 開催会場：石川県立門前高等学校体育館、山中座ホール、石川県立能楽堂



◆ 実施状況

江戸時代の加賀藩では、代々の藩主が能楽、中でも宝生流を愛好し、町民にも能を奨励したことで、宝生流の能楽が盛んな土地となり、「加賀宝生」と呼ばれるようになりました。この「加賀宝生」の魅力発信する「加賀宝生能」公演を県内3カ所で開催しました。

金沢公演は、石川県立能楽堂において、能の大曲「道成寺」を宝生流宗家が10年ぶりに石川県で披露する特別公演を実施しました。

最初に、俳優篠井英介さんと、シテ方宝生流能楽師の佐野玄宜さんによるトークショーを行い、能の魅力や道成寺の見どころを分かりやすく解説していただきました。続いて、宝生流20代宗家の宝生和英さんがシテを務めた「道成寺」では、見せ場のひとつである「乱拍子」で、シテと小鼓の両者の気迫がぶつかり合いながら、特殊な足遣いで緊張感を有する舞を披露し、観客は息をのんで見入っていました。

能登公演では、輪島市の大本山總持寺祖院の山門を背景に境内での野外能を予定していましたが、雨天のため県立門前高等学校体育館に会場を変更して実施しました。「土蜘蛛」の公演では、シテの糸を繰り出す立ち回りなど、ダイナミックな演出に、能を観たことがない観客にも存分に楽しんでいただきました。

加賀公演では、加賀市の山中座ホールで「野守 白頭」公演を実施しました。この公演では、能だけではなく、山中温泉の芸

妓による山中節と藤間流の日本舞踊も披露され、観客は演目が終わるごとに大きな拍手を送り、伝統芸能の魅力を堪能していました。

【プログラム】

- ①特別公演
 - 日時：11月19日(日)14:00～16:30
 - 会場：石川県立能楽堂
 - 内容：第1部「能の魅力を語る」トークショー
第2部 能「道成寺」シテ 宝生和英
- ②能登公演
 - 日時：10月21日(土)18:00～18:30
 - 会場：石川県立門前高等学校体育館(輪島市)
 - ※雨天のため会場は大本山總持寺祖院から変更となりました。
 - 演目：半能「土蜘蛛」シテ 広島克栄
- ③加賀公演
 - 日時：10月28日(土)14:00～16:00
 - 会場：山中座ホール(加賀市)
 - 演目：第1部 半能「野守 白頭」シテ 島村明宏
第2部 山中節四季の舞と芸妓伝統文化の体験
 - ※地域文化発信事業「山中節四季の舞と芸妓伝統文化の体験」(P116)と合同で開催しました。

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



リーディング事業 / 2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭連携事業

011

金沢城・兼六園大茶会 2023

- 開催日：令和5年11月3日(金・祝)～11月5日(日)
- 開催会場：兼六園 時雨亭、金沢城公園 玉泉庵、金沢21世紀美術館 松涛庵、旧園邸、仙叟屋敷ならびに玄庵、日蓮宗本山 妙成寺

複数
エリア

県内各地



◆ 実施状況

11月3日から5日の3日間にわたり、石川県内の7流派14社中が参加し、金沢城・兼六園周辺の4会場で日替わりの茶席を開いたほか、「仙叟屋敷ならびに玄庵」(小松市)、日蓮宗本山「妙成寺」(羽咋市)において、各1日限定での特別茶席が開かれ、着物姿の愛好者が各会場を回遊された姿や、初めて茶会に参加した方も多く見られました。

各茶席では、石川県が誇る人間国宝をはじめ、石川県美術文化協会の著名な工芸作家の委嘱作品、「第27回工芸作品公募展」の入選作等、第一線で活躍する工芸作家による新作茶道具が用いられるなど、石川ならではの茶道文化の奥深さに触れながら、県内外の多くの方々に優雅な一服を楽しんでいただくことができました。

また、特別開催した妙成寺では、国の重要文化財の書院を会場に開かれ、一服を味わった後に、書院から庭園を眺めたり、境内を散策したりする人も多く見られ、茶会を通じて、重要文化財の魅力を知ってもらうきっかけにもなりました。

【実施会場】

<金沢地区>

- 兼六園 時雨亭(金沢市)
表千家・澤永会(3日)、宗和流・宗和会(4日)、
表千家・祥和会(5日)
- 金沢城 玉泉庵(金沢市)
裏千家・大島社中(3日)、裏千家・野島社中(4日)、
遠州流・金沢兼六支部(5日)
- 金沢21世紀美術館 松涛庵(金沢市)
煎茶道松月流・北陸支部(3日)、遠州流・金沢支部(4日)、
裏千家・井奈社中(5日)
- 旧園亭(金沢市)
宗徧流・金沢支部(3日)、表千家・吉倉社中(4日)、
皇風煎茶禮式・石川弘風会(5日)

<加賀地区>

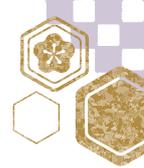
- 仙叟屋敷ならびに玄庵(小松市)
表千家・松晴会(4日)

<能登地区>

- 日蓮宗本山 妙成寺(羽咋市)
裏千家・奈良社中(5日)

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、金沢市、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、石川県茶道協会、北國新聞社、一般財団法人石川県芸術文化協会 ▽協賛 伊藤園、金沢エムザ



リーディング事業 / 2023ピエンナー いしかわ秋の芸術祭連携事業

012 いしかわ百万石の華

●開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
●開催会場：金沢駅およびイベント会場

複数エリア
県内各地



◆実施状況

石川ならではの「おもてなし」として、大会期間中に、石川県の玄関口である金沢駅をはじめ、リーディング事業の6つの会場内において、県内各流派の華道家による生け花の大作を展示しました。

金沢駅では、毎週土曜日と日曜日に、各流派の華道家による精魂込めた作品を展示し、来県される大会参加者や観光客の皆さんを生け花で「おもてなし」いただきました。作品は、北陸新幹線改札口の近くで展示したことにより、彩り豊かな生け花の作品は、大会参加者だけではなく、多くの観光客の皆さんも目を引くものとなり、作品を写真に収める姿も多く見られ、大会のPRにもつながりました。

また、リーディング事業の各会場においても、「生け花王国・石川」を代表する出品者の華やかな作品を展示したことにより、会場を訪れる県内外の参加者を魅了するものとなり、参加者からは、「心温まる作品に癒され、石川の文化力の高さを実感した。」などの声が寄せられました。

【展示会場・出品者】

- 金沢駅(10月14日～11月26日の毎週末)
日野理敦(古流松照会)、河村清佳(古流千昇派)、

- 前田由翠(池坊)、西保淳甫(嵯峨御流)、岩崎馨凡(御室流)、番田理昌(古流華友会)、川口理智(古流松栄会)
- いしかわ総合スポーツセンター(開会式)
連覚寺光敬(草月流)
- 石川県政記念しいのき迎賓館
(オープニングイベント「文化絢爛」)
西野芳流(草月流)
- 金沢市アートホール(いしかわ国際交流フェスタ)
上田理碧(古流柏葉会)
- のと里山空港(のと里山里海フェスタ)
浦 智子(池坊)
- 石川県立音楽堂
(全国障害者作品展、音楽堂 3days、石川ゆかりの文学朗読劇・ONSENトーク!トーク!トーク!、閉会式)
南川美恵(小原流)、小泉正瞳(花芸安達流)、高田澄甫(未生流)、市村理優(古流華之枝会)
- こまつドーム(北陸新幹線沿線「獅子舞・グルメ大集合」)
飯田真寿(小原流)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



013

リーディング事業

プレミアムガイドツアー「アナ旅」

- 開催日：令和5年10月14日(土)、10月22日(日)、10月28日(土)、11月11日(土)、11月17日(金)、11月23日(木・祝)
- 開催会場：県内各地

複数
エリア

県内各地



◆ 実施状況

石川の歴史や伝統文化、文学、食などを分かりやすく体感できるプレミアムなツアーを取材経験豊富な県内のフリーアナウンサー6名がそれぞれの得意分野や持ち味を活かして企画し、6コースの日帰りツアーとして実施しました。

各コースでは、アナウンサーが実際に同行してガイドしたほか、ツアーの立ち寄り先では、専門家がスペシャルガイドとして登場し、さらに深掘りして解説するなど、参加者の皆さんには、この日限りの見て、聞いて、味わう特別なメニューにより、石川の文化を存分に楽しんでいただきました。

【プログラム】

①能登の美酒美食(10月14日)徳前藍アナウンサー

能登半島の美酒と美食を体感するツアー。参加者は、能登町で150年以上続く造り酒屋「松波酒造」や「イカの駅つくモール」の見学、地元の食材を愛する「能登イタリアンと発酵食の宿 ふらっと」の特別ランチ、「能登ワイン」の見学・試飲などを楽しみました。

②金沢城入門(10月22日)富優香子アナウンサー

金沢城を建築・石垣・発掘調査の視点から専門家がリレー形式でわかりやすく解説。参加者は、「御殿の美」展(P49)の特別解説や兼六園での呈茶・ランチなども楽しみながら、金沢城の歴史を学びました。

③花嫁のれん(10月28日)平見夕紀アナウンサー

加賀藩の時代から今に伝わる伝統文化「花嫁のれん」をテーマに七尾市を巡るツアー。参加者は、600年以上の歴史を

持つ街道・一本杉通りで「花嫁のれん館」や老舗各店の花嫁のれんを見学・散策したほか、和倉温泉の人気旅館での昼食も楽しみました。

④文学と茶屋街(11月11日)戸丸彰子アナウンサー

金沢ゆかりの文学をテーマに茶屋街を巡るツアー。参加者は、主計町とひがし茶屋街の散策や「泉鏡花記念館」等の見学に加え、朗読家でもある戸丸アナの朗読と箏奏者・北村雅恋さんの演奏も堪能し、文学の舞台となった茶屋街を楽しみました。

⑤伝統工芸「九谷焼」(11月17日)吉道さゆりアナウンサー

石川を代表する伝統工芸「九谷焼」の陶房を、工芸を取り扱うバイヤーと巡るツアー。人気の陶房を訪れ、作家とバイヤーによる九谷焼の魅力や購入ポイントの解説を楽しめるほか、絵付け体験を予定していました。※最小催行人員に満たず不催行。

⑥カニ&発酵食(11月23日)福島彩乃アナウンサー

金沢の食文化であるカニ、寿司、発酵食を味わうツアー。参加者は「カニ面作り」と加能ガニの鍋のほか、発酵食の老舗「四十萬谷本舗」、「ヤマト醤油味噌」で試食や見学を楽しみました。「宝生寿し」での夕食の後は、「かなざわ総合市場」も見学しました。



加賀
エリア

小松市

014

リーディング事業

北陸新幹線沿線「獅子舞・グルメ大集合」

- 開催日：令和5年11月18日(土)～11月19日(日)
- 開催会場：こまつドーム



◆実施状況

令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸を控え、開業に向けた気運醸成を図るため、福井県をはじめ、新潟県や長野県など北陸新幹線沿線地域の獅子舞を一堂に集め、演舞を観ながら、ご当地人気グルメも楽しむことができるイベントを2日間にわたり開催し、県内外から23,000名の方々に来場いただきました。

獅子舞のステージでは、県内の加賀・金沢・能登の6団体をはじめ、次期開催県の岐阜県も含め、8県15団体が出演し、通常は足を運ばなければ観ることができない、各地域で受け継がれてきた獅子舞の魅力に観客は魅了されました。

また、ご当地グルメでは、石川県初出店となる群馬県の「高崎ほるもん」や、福井県の新名物「みたらし団子瓶」をはじめ、ご当地パンや東京駅の人気駅弁も直送させるなど、50店を超える物販・飲食ブースが出店したほか、ご当地の「ゆるキャラ」も大集合し、会場を盛り上げ、北陸新幹線の沿線各県のPRにもつながり、それぞれの地域の魅力を発信することができました。

さらに、獅子舞木製刀づくり体験や、加賀獅子頭ねつけ色付け体験、上生菓子作り体験などの文化体験のほか、新幹線ミニレールや、ふわふわ遊具、屋台・縁日コーナーなど、親子で楽しめるコーナーも設け、会場は賑やかに彩られました。

【出演者・出演団体】

＜司会＞南早苗、ほくりくアイドル部

＜オープニングステージ＞

手取宍龍若鮎組(18日)、おっしょべ太鼓保存会(19日)

＜獅子舞＞

18日

折平郷土芸能保存会(新潟県)、武部獅子舞保存会(中能登町)、沓掛獅子舞保存会(富山県)、河原市町瑞穂獅子舞保存会(金沢市)、雲浜獅子舞保存会(福井県)、龍助町大獅子舞保存会(小松市)、岩村町獅子舞保存会(岐阜県)、台町獅子舞保存会(埼玉県)

19日

千本木龍頭神舞保存会(群馬県)、日和山神社芸能保存会(長野県)、関栄親子獅子保存会(加賀市)、龍助町大獅子舞保存会(小松市)、立野東町青年団(富山県)、ハツ矢町獅子舞保存会(白山市)、平瀬獅子舞保存会(岐阜県)、深江町青年団(羽咋市)

【体験】

親子で獅子頭作り体験(加賀市獅子舞を応援する会)、親子で加賀獅子体験教室(寺中町獅子舞保存会)、獅子舞道具(武器)作り体験(久宗獅子舞工房)、加賀獅子頭ねつけ色付け体験(加賀獅子頭 知田工房)、和菓子作り体験(石川県菓子工業組合)

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



015

リーディング事業

のと里山里海フェスタ

- 開催日：令和5年10月28日(土)～10月29日(日)
- 開催会場：のと里山空港

能登
エリア

輪島市



◆ 実施状況

10月28日、29日の2日間にわたり、日本遺産にも認定された能登を代表する祭礼「キリコ祭り」のほか、伝統芸能や食、さらには文化体験など、能登の里山里海の魅力を一堂に集めたイベントを開催し、7,000名の方々にご来場いただきました。

【プログラム】

28日は、ほくりくアイドル部によるオープニングステージでイベントが幕を開け、続いて珠洲ちよがり保存会によるちよがり節と、天平太鼓保存会による太鼓演奏が披露されました。

また、キリコ展示では、来場者がキリコ担ぎ体験も楽しんだほか、夜のクライマックスイベントではキリコに明かりが灯り、空港エプロンにおいて「能登のキリコ」・「唯一の国産旅客機 YS-11」・「太鼓連盟合同演奏」の今回限りの特別コラボステージが披露され、担ぎ手の威勢の良い掛け声や笛の音、豪快な和太鼓の演奏が会場を大いに盛り上げました。

29日は、初日に続いてキリコ担ぎ体験が行われたほか、地元の高中生や子ども達によるダンスステージが繰り広げられ、様々な楽曲に合わせたダンスで会場を訪れた方々を楽しませました。

また、空港ターミナルビル内では、能登で採れた海藻や貝殻を使ったワークショップや伝統工芸づくり体験を実施し、子ども達を中心に能登の様々な文化を体験いただきました。

最後は、地元輪島市出身の和太鼓奏者・今井昴さんと、県立能登高校書道部のコラボによるスペシャル書道パフォーマンス

が行われ、躍動感のあるパフォーマンスで観客を魅了しました。

このほか、2日間にわたり、能登井などの能登のグルメブースも出展され、来場者は食を通して能登の里山里海の魅力を存分に味わいました。

【展示内容】

<キリコ展示・担ぎ体験> ※五十音順

あばれ祭(能登町)、大町・川島祭り(穴水町)、にわか祭(能登町)、能登島向田の火祭(七尾市)、輪島大祭(輪島市)

【ワークショップ】

海藻しおり工作、田鶴浜組子コースター体験、MY 箸づくり体験、貝殻を使ったプチクラフト作り

【出演団体】※出演順

ほくりくアイドル部、珠洲ちよがり保存会、天平太鼓保存会、公益社団法人石川県太鼓連盟、日本航空高校石川ダンスカンパニー、石川県立輪島高校、RAISE/GROW dance studio、石川県立七尾高校、遊学館高校、片町★ダイナマイツ、石川県立能登高校、今井 昴

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、のと里山空港賑わい創出実行委員会

金沢
エリア

金沢市

016

リーディング事業

サケマルシェ2023

- 開催日：令和5年10月7日(土)～10月8日(日)ほか
- 開催会場：石川県政記念いのき迎賓館、県内飲食店ほか



◆実施状況

○石川の地酒と美食の祭典「サケマルシェ2023」

10月7日～8日

【内容】

大会開会前の10月7日、8日の2日間にわたり、石川県内の28の酒蔵が一堂に会し、石川の地酒を試飲販売したほか、人気飲食店(37店舗)による日本酒に合う一品料理も提供・販売し、石川の食文化の魅力を発信しました。

会場は、県産酒米「百万石乃白」を楽しむブースをはじめ、日本酒を題材とした笑福亭へ瓶さんによる落語独演会や伝統的造りシンポジウムを実施したほか、子ども楽しめる工芸ワークショップも行なうなど、県内外から30,000名の方々にご来場いただきました。

また、会場内には、いしかわ百万石文化祭2023のPRコーナーも設け、来場者に大会ガイドブックやグッズを配布し、開催に向けた気運を高めました。

【出展者】

酒造28社：(株)加越、数馬酒造(株)、(株)金谷酒造店、鹿野酒造(株)、菊姫(資)、(株)久世酒造店、(株)小堀酒造店、櫻田酒造(株)、(株)清水酒造店、(株)車多酒造、宗玄酒造(株)、武内酒造店、(株)鶴野酒造店、鳥屋酒造(株)、(名)中島酒造店、中村酒造(株)、(同)西出酒造、(株)白藤酒造店、橋本酒造(株)、東酒造(株)、日吉酒造店、(株)福光屋、松浦酒造(有)、松波酒造(株)、御祖酒造(株)、(株)宮本酒造店、やちや酒造(株)、(株)吉田酒造店

飲食37店：ARU、酒と人情料理 いたる、金澤 鮭 洋次郎、金沢芽生会、カルロチェントロ、鮭 さしん、魚園、鮭くら竹、スペイン料理 コメール、酒屋 彌三郎、サリーナ、6 APARTMENT COFFEE、JA 全農いしかわ、旅する料理、鳥串 たまや、ちくわ、創意中華茶房 桃花片、チェコ料理 DUB、天ぶら 小泉、日々魚数寄 東木、NIKUO 中谷精肉店、BACARO、おすしと和食 はた中、八郎すし、東山和今、フィルドール、magazzino38、マルガージェラート、マルシェロロ金沢、やき鳥 卍郎、季節料理と炭火焼き Meal、鮭 みつ川、チーズ工房 ミモレット、ラトリエ・ドゥ・ノト、林檎とわかば、六星、石川バーテンダーズ

○サケマルシェウィーク 9月7日～23日、10月26日～11月9日

【内容】

人気飲食店のディナーに地酒をペアリングした1日限定のコラボディナーを17日間18会場で実施しました。さらに、10月14日より、各店で石川バーテンダーズによる石川県産酒米「百万石乃白」を使用したオリジナルの地酒カクテルを提供し、若い世代にも石川の日本酒を楽しんでいただきました。

○サケマルシェ酒蔵ツアー 11月18日、25日

【内容】

石川県内の酒蔵を巡る日帰りツアーを開催しました。県内の発酵食をテーマに、食と地酒が生み出す地域の食文化を体験するツアーであり、18日は白山・加賀編として、ふぐの糠漬けの工場見学と加賀ノ月の酒蔵見学を、25日は金沢編として大野醤油の工場見学と加賀鳶の酒蔵見学を行いました。

主催

サケマルシェ実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会

▽共催 石川県政記念いのき迎賓館 ▽協力 石川県小売酒販組合連合会、カナカン



017

リーディング事業

いしかわ国際交流フェスタ

- 開催日：令和5年10月21日(土)～10月22日(日)
- 開催会場：金沢市アートホール、金沢市役所庁舎前広場

金沢
エリア

金沢市



◆ 実施状況

10月21日、22日の2日間にわたり、ステージ公演やトークショー、国際交流まつりなど、多文化の魅力に楽しみながら触れることができる各種イベントを展開しました。

金沢市アートホールでは、21日に、全羅北道立国楽院がパンソリを始めとする韓国の伝統芸能を披露し、観客に韓国に対する理解を深めていただきました。また、経験豊富なホストファミリーとアメリカからの日本語研修生が、「英語が話せないけど大丈夫」などの疑問に答えながら、ホームステイの魅力を語るトークイベントを実施し、異文化に対する理解を深めました。

また、22日には、世界35か国以上で公演経験を持つ、パントマイムアーティスト「が〜まるちよば」によるパフォーマンスショーを実施し、言語の壁を超えて世界中の人を笑顔にしたパントマイムの魅力と可能性に観客は引き込まれていました。

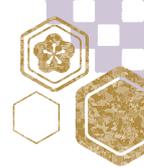
また、金沢市役所庁舎前広場では、21日、22日の2日間、国際交流まつりを実施し、世界の音楽やダンスのステージショー、ワールドグルメ、日本文化の体験ブースなど、子どもから大人まで楽しめるイベントにより、大変盛り上がり、来場者は世界の文化に触れ、たくさんの笑顔があふれていました。

【プログラム】

- 日時：10月21日(土) 13:00～16:30
場所：金沢市アートホール
内容：①【韓国全羅北道伝統芸能公演】
②【おうちで国際交流!～ホストファミリーになってみませんか?～】
- 日時：10月22日(日) 14:00～15:20
場所：金沢市アートホール
内容：【が〜まるちよば パフォーマンス&トークショー】
上記の開催にあわせて、石川県国際交流協会による国際交流員各国の伝統衣装&伝統工芸紹介、国際情報ライブラリーのおすすめ本紹介などの展示も実施
- 日時：10月21日(土)・22日(日) 両日とも 10:00～15:00
場所：金沢市役所庁舎前広場
内容：【かなざわ国際交流まつり2023】
世界の音楽やダンスが楽しめるステージ、世界の料理を味わえるグルメ、世界の文化が楽しめるブース、「外国人フォトコンテスト」等の実施

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、公益財団法人石川県国際交流協会、かなざわ国際交流まつり2023運営委員会、金沢市、公益財団法人金沢国際交流財団



018

リーディング事業

わたしが見つけた100のアート

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：県内各地

全域

県内各地



◆実施状況

自然が作り出したアートや街中のオブジェ、おもしろい写真が撮れるスポットなど、みんなに紹介したい、思わず写真を撮りたくなるモノ(場所)の写真を募集し、県内外から1,635件の応募がありました。その中から、多彩なスポット100カ所を「わたしが見つけた100のアート」に選定しました。

大会期間中は、「わたしが見つけた100のアート」に加え、「道の駅学生アートプロジェクト」(P63)、「スマホでARアート巡り」(P62)、「きらめく傘のアートプロジェクト」(P64)の計4つのアート事業を合わせて、「まるっと石川アートめぐり」と題し、県内全域のアートスポットをまとめて紹介する取組を実施し、県民や

観光客の皆さんに県内各地へのドライブと一緒にアートめぐりを楽しんでいただきました。

さらに、アートスポットへの周遊を促進するため、スマートフォンやタブレットで参加できるデジタルスタンプラリーを実施しました。アートスポットを訪れるとスタンプを取得できるほか、アートスポットの周辺にあるパン屋45店舗の協力を得て、パンの購入によりポイントを取得できる「いしかわパンめぐり」も盛り込み、パンをきっかけに普段行ったことのないアートスポットにも足を運ぶ方も多く見られました。

また、こうしたスポットを巡って集めたポイント数に応じて、石川のお米や工芸品などを抽選でプレゼントする企画も行い、若者を中心に参加いただきました。

主催 文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会



019

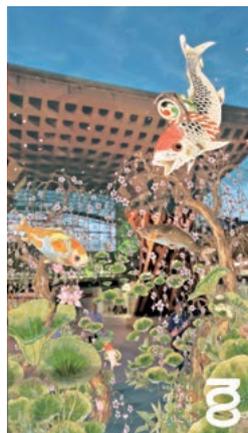
リーディング事業

スマホでARアート巡り

- 開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)
- 開催会場：県内各地

全域

県内各地



◆実施状況

若い世代をターゲットに、世界的に注目を集めるデジタルアートのひとつであるAR(拡張現実)アートを、Meta社協力のもと、見附島、金沢駅鼓門、山中温泉など、石川県内14の観光名所で実施しました。

石川県内初となる企画で、スマートフォンをかざすと、幻想的なARアートが現れる仕掛けであり、県内在住の浮世絵師アマギ堂さんなど、9名のアーティストに参加いただき、「リアル」と「デジタル」が融合した、驚きのアートを国内外から多くの方に楽しんでいただきました。

また、県内高校生にも、世界最先端技術のARアート制作を学び、体験できる機会を提供するため、Meta社公認のARクリエイターKassyさんを講師としたワークショップを開催しました。

ワークショップでは、高校生がデザインした歌舞伎などをモチーフにしたお面が、スマートフォンのカメラを向けると顔を認証して表示され、口を開くと柄や色合いが変化するアートを作り上げました。出来上がった作品は、インスタグラム上に公開展示され、26万回以上閲覧されるなど、国内外の多くの方に楽しんでいただきました。

<石川県内のARアート展示場所・作品名・作者>

【能登地区】

- ①見附島／Happy Skull／ARアーティストkenxxxooo

- ②イカの駅つくモール／イカーニバル!!!／学生アーティスト スズキチヒロ
- ③能登長寿大仏／Monopus／ARクリエイターMitsuko Ono
- ④和倉温泉総湯／Premium Ankou／ARクリエイターOmega
- ⑤宇宙科学博物館コスモアイル羽作／集え、宇宙人たち！
／美術作家 加藤たけひろ

【金沢地区】

- ⑥金沢港クルーズターミナル／Fishing Terminal／学生アーティスト 石黒将太
- ⑦金沢駅鼓門／鼓ヶ池の門／浮世絵師アマギ堂
- ⑧金沢城公園／Premium Ankou／ARクリエイターOmega
- ⑨しいのき迎賓館／Happy Skull／ARアーティストkenxxxooo
- ⑩石川県立図書館／Monopus／ARクリエイターMitsuko Ono

【加賀地区】

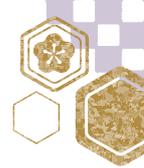
- ⑪「安宅の関」こまつ勸進帳の里／ARクリエイター Monopus
／Mitsuko Ono
- ⑫道の駅瀬女／Happy Skull／ARアーティストkenxxxooo
- ⑬山代温泉古総湯／ARクリエイター Monopus／Mitsuko Ono
- ⑭山中温泉総湯菊の湯／みそ温泉～山中仕立て／学生アーティスト マキダカオリ

【県内高校生】

石川県立七尾高等学校、石川県立金沢二水高等学校、石川県立工業高等学校、石川県立金沢辰巳丘高等学校、石川県立寺井高等学校、小松市立高等学校の美術部

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会
▽協力 Meta



全域

県内各地

020

リーディング事業

道の駅学生アートプロジェクト

●開催日：令和5年10月14日(土)～11月26日(日)

●開催会場：道の駅狼煙、道の駅千枚田ポケットパーク、道の駅のと千里浜、道の駅高松「里海館」、道の駅めぐみ白山、道の駅瀬女



◆実施状況

石川県内の大学生が、県内6カ所の道の駅において、それぞれの地域の自然や文化、食の魅力に触れることができるアート作品(巨大オブジェや彫刻など)の制作・展示を行いました。

制作にあたっては、参加した5大学の学生が一堂に会した作品の構想発表会を実施し、作品の魅力を高めるアイデアなどの意見交換を行うなど、交流を交えながら作業を進め、道の駅の新たなインスタ映えスポットを作りたいという意気込みも感じられました。

完成した作品は、大学生が中心となって展示作業を行い、大会期間中、作品と一緒に写真を撮って楽しむ観光客の姿も多く、インスタグラムへの投稿も見られ、若い世代のアートへの関心を高める機会にもなりました。

●参加大学

金沢美術工芸大学、金沢学院大学、金沢大学、金沢工業大学、金沢星稜大学

【展示内容】

①道の駅狼煙

『玉梓』(制作：金沢星稜大学)

狼煙町の「のろし」にちなみ、“人に憩いや情報を届ける”がコンセプト。海の泡柱をイメージしたガラス玉の中には手紙

が封入。

②道の駅千枚田ポケットパーク

『千枚田図屏風』(制作：金沢工業大学)

白米千枚田をまるで屏風に描かれた風景画のように切り取って見せる。

③道の駅のと千里浜

『FLOWING FIGURE』(制作：金沢美術工芸大学)

砂浜の浸食被害が進行している「千里浜海岸」の未来における自然環境と私たちの共有意識を表現。

④道の駅高松「里海館」

『共生の大地～symbiotic earth～』(制作：金沢学院大学)

かほく市の特産品や地元出身の哲学者西田幾多郎が好きだった猫などがモチーフ。

⑤道の駅めぐみ白山

『風采万巻』(制作：金沢美術工芸大学)

「加賀松任の獅子舞」に着想を得て、白山の精霊としての新しい“獅子舞”を創造。

⑥道の駅瀬女

『ななめこ』『おばあきのこやさん』(制作：金沢大学)

白山市特産品の「木滑なめこ」がモチーフ。「なめこ」「7」「斜め」の3つの意味を込める。

主催

文化庁、厚生労働省、石川県、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会
▽協力 狼煙、千枚田ポケットパーク、のと千里浜、高松、めぐみ白山、瀬女の各道の駅